

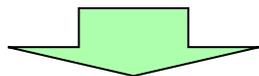
# 山鹿市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 20年11月～25年3月)

## 【中心市街地を巡る状況】

○江戸時代、豊前街道第一の宿場町として繁栄。当時の様式を残す芝居小屋「八千代座」や源泉を平安期にたどる「さくら湯」などが現存し、古の町並みを再生した商店街※は、観光客が多く来訪。

※H19「美しいまちなみ大賞(国土交通省)」受賞

○郊外部への大型店舗の進出、中心部に位置する複合商業施設の業績不振による店舗撤退により、地域住民の生活を支える機能が低下。



### ○歩行者通行量の減少

H6: 9,027人/日  
→ H19: 4,426人/日(▲ 51.0%)

### ○年間小売販売額

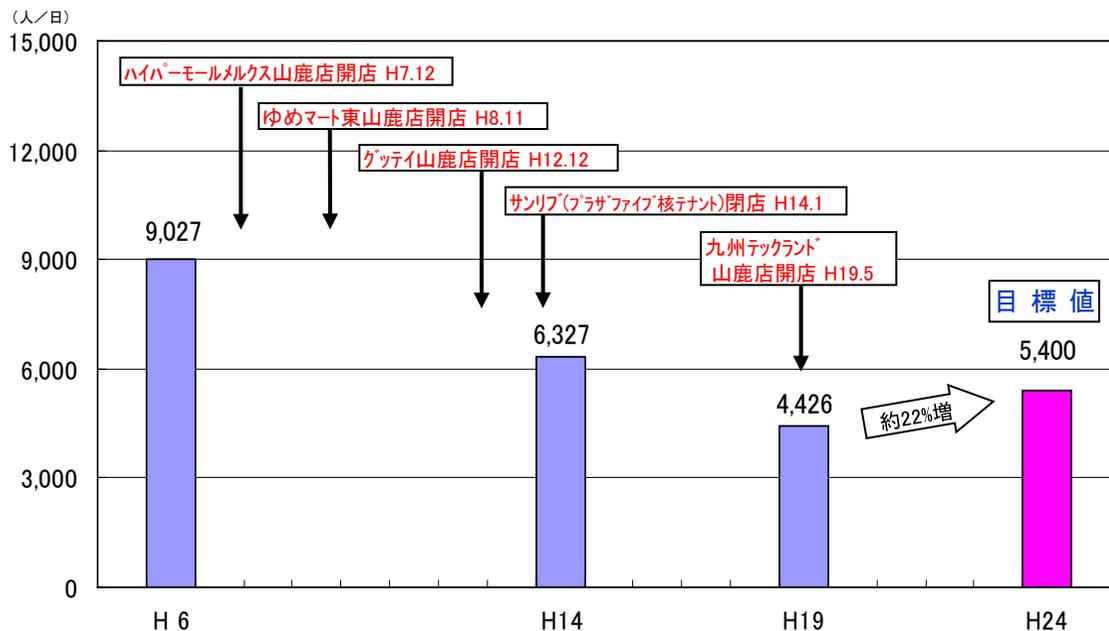
H6: 14,724百万円  
→ H19: 3,654百万円[推計](▲ 75.2%)

## 【目標】

目 標	指 標	現況値 (H19)	目標値 (H24)
来街動機を増やす	歩行者・自転車通行量	4,426人/日	5,400人/日
商業施設等の充実	年間小売販売額	3,654百万円 [推計]	4,300百万円

注)歩行者・自転車通行量は、8調査地点における平日・休日合計の平均値

### (歩行者通行量の推移)



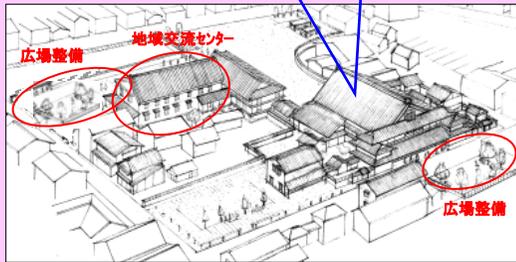
歴史を感じさせる施設や通りの整備・拡充をとおした個性あるまちづくりと、高齢化に対応した公共交通サービスの充実や商業機能の強化など、地域住民の日常的な生活空間としてのまちづくりの共存を目指す。

# 山鹿市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 歴史を感じさせる個性あるまちづくり

○「八千代座」(国指定重要文化財)関連施設として観光

客や地域住民のための**多目的広場の整備**、地元高校等が演劇練習や発表の場として利用する**地域交流センター**などの整備により、休演時も集客を図る。



○複合商業施設「プラザファイブ」の整備に合わせビル化された「さくら湯」を、懐かしさを感じさせる**明治期の姿に再生**し、さらなる集客を図る。

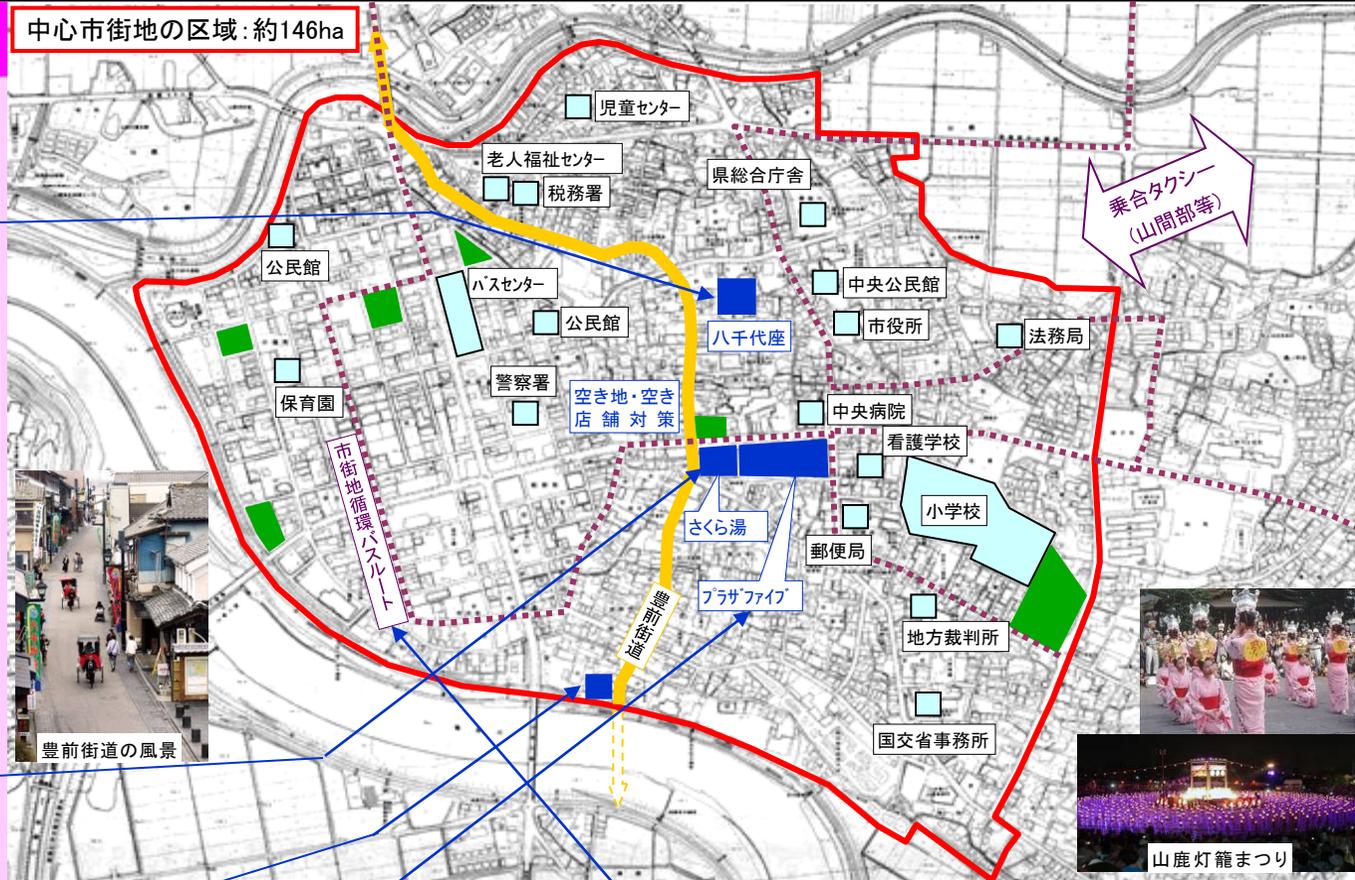


○豊前街道沿いの**歴史的景観形成建築物の保全と修景**に対し助成を行い歴史に満ちた空間の形成を促進する。



○歴史ある「山鹿灯籠まつり」に加え「豊前街道八千代座まつり」や「山鹿灯籠浪漫・百華百彩」等**各種イベントの開催**、「山鹿市旅先案内人の会」による**市街地ガイド**などの実施により中心市街地の魅力の向上を図る。

中心市街地の区域：約146ha



## 地域住民の日常的な生活空間としてのまちづくり

○築後30年を経過し、設備の老朽化や耐震性に問題を抱える**複合商業施設「プラザファイブ」**をリニューアルするとともに、不足業種など各種テナントを誘致し、**地域住民の日常的な生活を支える。**



○民間路線バス撤退エリアや山間地等を中心に、**市街地循環バス**や**乗合タクシー**の本格運行を行い、来街者の**利便性の向上**を図る。



○商店街に点在する**空心地・空き店舗**を有効活用する新規開業者に対し、借家料等への助成を継続実施。